

ASEANの人権問題

クーデター後のタイ、ラオスの強制失踪事件

2015年 **5月30日(土)**

13:30-16:30 (13:00開場)

法政大学 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 S407教室

東京都千代田区富士見2-17-1 <http://www.hosei.ac.jp/campus/ichigaya/ichigaya.html>
アクセス【JR線】総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分

「微笑みの国」と謳われるタイとラオス—しかし「微笑み」のイメージとは正反対の深刻な人権問題があるのを知っていますか？ 今回のセミナーでは、日本であまり報道されることのない両国の「影」の部分について、基礎情報をおさらいしながら報告します。

まず、両国と日本の関係や、両国がメンバーである東南アジア諸国連合(ASEAN)の地域統合をめぐる昨今の動きについて松本悟氏(法政大学)にご解説いただきます。続いてタイで長く続く、赤シャツと黄シャツの政治対立と、昨年起きた軍事クーデターの背景について浅見靖仁氏(同上)よりご解説いただき、ニラン・ピタックワッチャラ氏(タイ国家人権委員会)に、クーデター後の人権状況とタイの経済活動がASEAN各国に与える影響についてご報告いただきます。

ラオスについては、2012年12月に起きた誘拐事件を取り上げます。アジアのノーベル賞とも呼ばれるマグサイサイ賞を受賞した社会活動家ソムバット・ソムボン氏は、警察官の目の前で誘拐されたにも関わらず、その後の消息が全くわかりません。氏の夫人、ウン・シュイ＝メン氏に、政治的強制失踪と呼ばれるこのような事件と、被害者家族の闘いについてお話しいたします。そして、ASEAN地域の人権問題に対し日本にはどのような役割が求められ、また、改善に向けて私たちに何ができるのかスピーカーと共に考えます。

- 定員：200名
- 入場料：無料
- 主催：特定非営利活動法人メコン・ウォッチ、法政大学国際文化学部
- 協力：アムネスティ・インターナショナル・ジャパン、ヒューマン・ライツ・ウォッチ
- 助成：大竹財団、The Sombath Initiative
- 言語：日本語(海外ゲストの報告・発言は逐次通訳付)
- 事前登録：参加ご希望の方は、以下サイトより事前登録をお願いいたします。
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/c6cf358d352241>

- 内容(予定)
- ・ASEANと援助供与国、日本……………松本悟氏(法政大学国際文化学部准教授)
- ・タイの2014年軍事クーデターとは何だったの……………浅見靖仁氏(法政大学法学部国際政治学科教授)
- ・タイ/クーデター後のタイで何が起きているか……………ニラン・ピタックワッチャラ氏(タイ国家人権委員会委員)
- ・ラオス/ソムバット氏強制失踪事件とASEANの課題…ウン・シュイ＝メン氏(ソムバット氏伴侶)

議員会館シンポジウム

「ASEANの人権と日本の役割」

- 日時：2015年5月29日(金) 13:30-16:30
- 場所：衆議院第二議員会館第7会議室
- 主催：特定非営利活動法人メコン・ウォッチ
- 後援：外務省(申請中)
- 協力：アムネスティ・インターナショナル・ジャパン
ヒューマン・ライツ・ウォッチ
- 助成：大竹財団、The Sombath Initiative
- 定員：25名
- 言語：日本語(海外ゲストの報告・発言は逐次通訳付)
- 事前登録：参加ご希望の方は、必ず以下サイトよりご予約をお願いいたします。
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/08a860c5356877>

- 内容(予定)
- ・タイ/クーデター後のタイで何が起きているか
ニラン・ピタックワッチャラ氏
- ・ラオス/ソムバット氏失踪事件とASEANの課題
ウン・シュイ＝メン氏
- ・これまでの日本のODAにおける人権問題への取り組みと今後の課題
外務省(交渉中)
- ・パネルディスカッション「ASEANの人権問題と日本の役割」
ファシリテーター
吉岡利代氏(ヒューマン・ライツ・ウォッチ上級プログラムオフィサー)
パネリスト
ニラン氏、シュイ＝メン氏、外務省(交渉中)
若林秀樹氏(アムネスティ・インターナショナル・ジャパン事務局長)

*会場では参加者有志から、ソムバット氏失踪事件の早期解決を求めるメッセージを「創造の木」を模したボードに書いていただく予定です。また、「Where is Sombath?」と書かれたパネルを持った写真を撮影させていただき、国際キャンペーンサイト<http://sombath.org/global-concern/people-are-asking/>に投稿する予定です。どうぞご参加ください。

●松本 悟

専門は「開発と環境」「国際協力学」。法政大学国際文化学部准教授。NHK 記者、日本国際ボランティアセンター (JVC) ラオス代表、メコン・ウォッチ代表理事等を経て現職。長く日本の政府開発援助 (ODA) の分野で調査研究・提言活動を行ってきた。

●浅見靖仁

政治学者。法政大学法学部国際政治学科教授。比較政治学、国際開発論および東南アジア地域研究が専門。経済から政治まで幅広い分野で活動している。タイのタマサート大学へ留学した経験から同国への知見も深い。

●ニラン・ピタックワッチャラ

タイ人。医師として病院長などの経験。2000-2006年タイ上院議員として、タクシン政権の実施した「麻薬との戦争」での裁判なしの殺害、ガスパイプライン反対運動を行った住民が強制的デモ排除にあった件など、政府権力の不正による人権侵害問題に、院の委員会等を通じて取り組む。2009-現在、タイ国家人権委員会委員。

●ウン・シュイ=メン

シンガポール人。ソムバット氏の伴侶として1986年からラオス在住。開発、援助の問題に長年取り組む。1976-1986年、シンガポールの東南アジア研究所 ISEAS 上席研究員。1986-2008年、UNICEF のラオス、中国、東ティモール事務所勤務。うち2004-2008年は東ティモール事務所代表を務める。社会学博士 (ハワイ大学)。

Where is Sombath?



ソムバット氏はいま何処に

アジアのノーベル賞といわれるマグサイサイ賞を受賞したラオスの社会活動家、ソムバット・ソムボン氏。2012年12月から行方不明となっている。最後に彼の姿を目撃していたのは、路上の防犯カメラ。映像には、警察官に停車を命じられ、車を路肩に寄せ降りたあと、別の車両で連れ去られる姿が映っており、ラオス政府が何らかの情報を持っている可能性が高い。(防犯カメラの映像はこちら <http://sombath.org/video/>) 欧米政府やNGOから真相究明が要請されているが、ラオス政府は捜査中と繰り返すのみ。1952年に結成された世界の法律家からなる民間団体、国際法律家委員会の調査では、基本的な捜査すら行われていない疑いがあり、政治的強制失踪の可能性が極めて高い。

▼ <http://sombath.org/video/> より



ラオスの首都ビエンチャンでソムバット氏が最後に目撃された警察の詰所。赤い線はジープとピックアップトラックが停車した位置。



①警察がソムバット氏の運転するジープに駐車を求め、何かを話している



②ソムバット氏がジープを降り、警察に寄っていく (70秒後)



③警察がジープの後ろと詰所の前で待つ (30秒後)



④バイクに乗った黒いジャケットの人物が現れる (8秒後)



⑤黒いジャケットの人物は警察の方に駆け寄り加わる (5秒後)



⑥黒いジャケットの人物がジープに乗り込む (80秒後)



⑦ジープは走り去り、バイクが残される (15秒後)



⑧白いジャケットの人物が詰所の前で迎えを待つ (2.5分後)



⑨迎えのピックアップトラックが到着する (40秒後)



⑩白いジャケットの人物がピックアップトラックに乗り込む (5秒後)



⑪ソムバット氏を含む一人か二人がピックアップトラックに乗り込む (2秒後)



⑫警察が詰所の後ろから出てきたバイクの人物に向かい話し掛ける (2秒後)



⑬可能性としては発砲し、バイクは去る (3秒後)



⑭ピックアップトラックは去り、警察は残る (10秒後)



⑮警察がバイクをチェックする (35秒後)



⑯白いジャケットの人物がバイクを撤去 (1分後)

